

変わりゆく地域活動

公民館と自治会の今と未来

変化する地域に 向き合う

今回の特集では、公民館や自治会の現状と課題に焦点を当て、「なんのために自治会はあるのか」「自治会は必要か」「自治会がないと不便なのだろうか」といった素朴な疑問に迫るため、地域活動の現状とその意義を探ります。

本市では、少子高齢化や人口減少が進む中、公民館や自治会の担い手不足が深刻化しています。ライフスタイルの多様化もあり、加入率は低下し、役員の負担が増大する一方です。特に共働き家庭では、自治会活動との両立が難しくなっています。

また、自治会活動の内容や運営方法に疑問を感じ、退会を選ぶ市民もいます。運営の透明性や公平性が求められる中で、自治会の意義とその役割が再評価されるべき時期にきています。

こうした課題に対して、行政の役割は非常に重要です。行政として、自治会や公民館と連携し、支援策を講じることで地域の課題を解決する手助けを行う必要があります。地域の声を積極的に取り入れ、市民との対話を深めることで、地域の実情に即した政策を進めることが重要です。

本特集では、自治会加入・未加入者へのインタビューや自治会が抱える諸課題の把握、本市内の地区自治公民館の取組を紹介し、公民館や自治会が地域社会の中でどのように支え合い、協力し合っているのか、その実態に迫ります。市民の皆さんが自治会活動に対する理解を深め、積極的に関わる一助となれば幸いです。



市民インタビュー



自治会活動で広がる子どもたちの可能性

地域の子どもたちが安全に暮らせるよう、地域全体で見守ってもらえるのがありがたいです。公民館は災害時に安心して避難できる場所だと思いますので、子どもたちには公民館でお泊りなどのキャンプ体験、電気がなくてもできる遊びを教えてくださいたいです。

今年の夏は宮西公民館にエアコンが設置されるので、子ども会会長として夏休みには習字や七夕飾り作り、防災炊き出し体験会や勉強会などを計画しています。公民館が安心して子どもを預ける場所になると嬉しいです。



松川 ゆきさん
夫、小学生、中学生

自治会
入ってます！

自治会に入るメリットを感じない

現在3歳と1歳半の子どもがいて、まだ小さいため、今は自治会に入る必要性を感じません。子ども同士のつながりは大事だと思うので、子どもたちが小学生になったら子ども会加入を考えています。

また、家を建てたばかりで節約したいので、自治会費も気になります。共働きのため、活動に参加できず、罰金なども懸念しています。ゴミは敷根清掃センターに週に一回捨てていますし、広報誌なども届いていませんが不便を感じることはありません。自治会加入に関して市役所からの案内もありませんでした。



谷口 翔太さん
妻、子ども3歳と1歳半

自治会
入ってません！

自治会で生まれる世代間交流の場

鹿児島市から転入してきたため、地域のつながりを求めて自治会に加入しました。子どもたちが近所で遊ぶ機会がなく、学校だけのつながりに不安を感じていました。顔見知りが増えることで、子どもたちが安心して大人に助けを求められる環境を望んでいます。また、中間世代や高齢者、子どもたちと交流できる場として、自治会活動が地域全体の絆を深める役割を果たしてほしいと思います。



善福 仙華さん
夫、小学生

自治会
入ってます！